

町の財政状況

▶問い合わせ
企画財政課 財政係
☎ 2-2171
内線(320・331)

令和3年度の決算状況をお知らせします。

※単位は千円とし、端数は調整した数字で掲載しています。

3つの会計で管理

町のお金は一般会計、特別会計、水道事業会計の3つに大別されています。

一般会計は、福祉や保健衛生、産業、道路、教育など、全町民を対象とした事業のお金です。

特別会計は、国民健康保険や公共下水道、簡易水道、介護保険、後期高齢者医療の5つの事業を行うためのお金です。

水道事業会計は、水道事業を行うためのお金です。

一般会計の決算総額

令和3年度の一般会計の決算は、

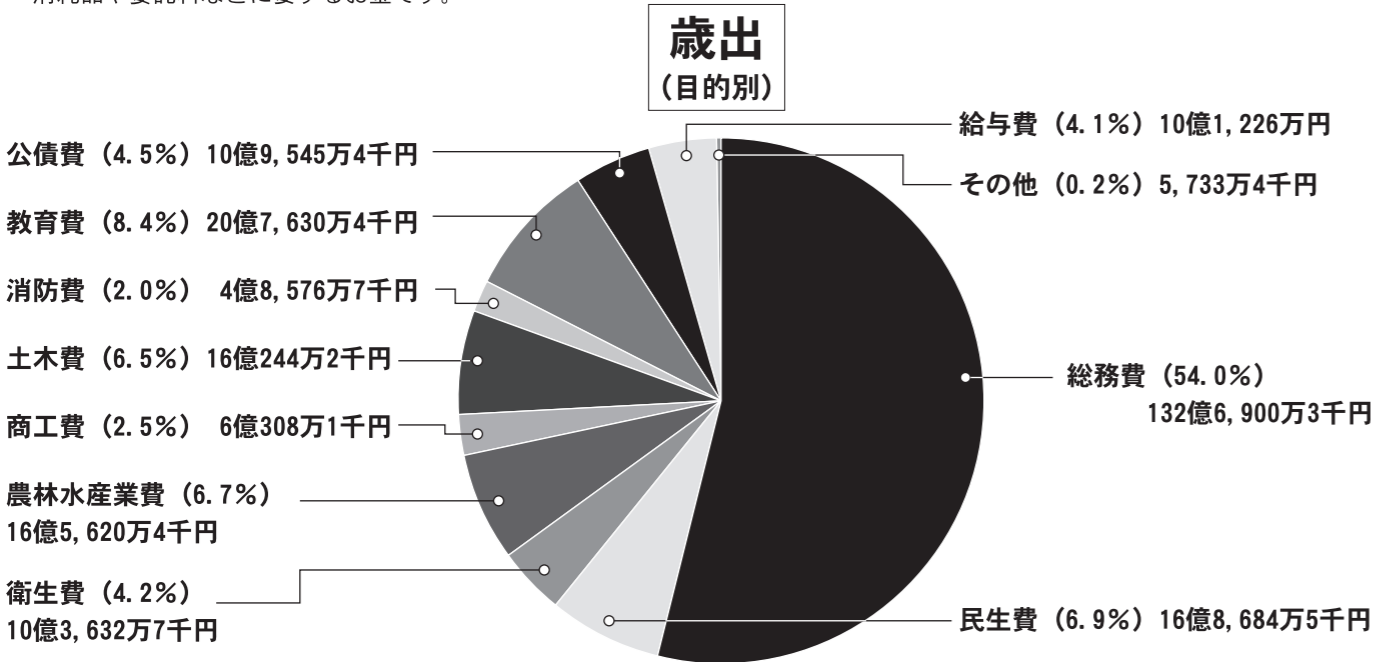
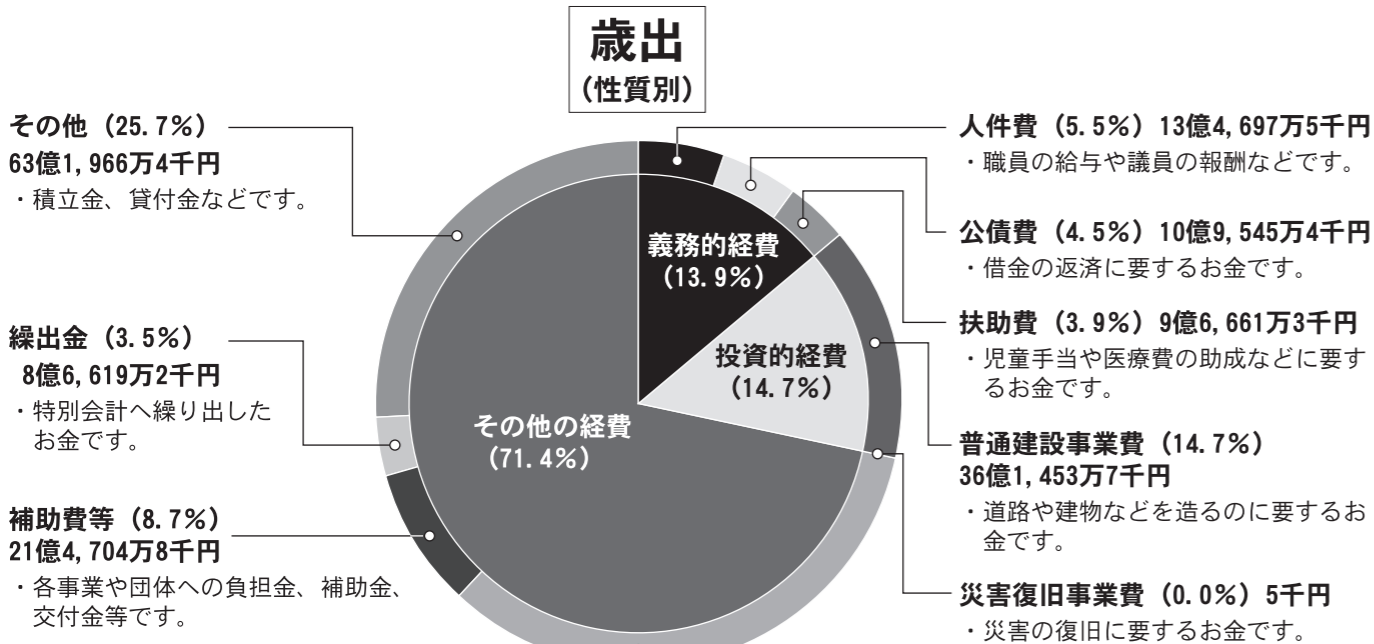
56万3千円より50億645万8千円の増加となりました。主な要因はふるさと納税のお礼の品に係る経費や、その寄附金を各基金へ積み立てたことによるものです。

歳出は、円グラフにあるように「性質別」と「目的別」の2つの角度から見ること、どんな分野にどのくらいのお金が使われているのかを把握することができます。

基金(貯金)と町債(借金)

令和3年度末の基金は、137億2416万7千円です。前年度の100億2960万3千円から36億9456万4千円の増額となりました。町民一人当たりになると、およそ186万円になります。一方、町債は139億5077万円で、前年度の132億5940万5千円から6億9136万5千円の増加となりました。主な要因は、白糠小中学校外統合事業に係る借入金です。町債を町民一人当たりになると、およそ189万円になります。

※町民一人当たりの金額は、令和4年3月31日現在の人口7351人で算出しています。



歳入(収入) 総額246億9866万9千円、歳出(支出) 総額245億8102万1千円となりました。

歳入から歳出を差し引いた額は、1億1764万8千円となり、このうち翌年度へ繰り越す事業の財源が8万8千円です。1億1756万円の黒字となりました。

一般会計決算規模は前年度より増加

歳入は、前年度の198億412万1千円より48億9454万8千円の増加となりました。主な要因は、ふるさと納税の寄附金の増額によるものです。

町税は10億1592万3千円で全体の4.1%を占めており、前年度の10億3651万円から2058万7千円の減額となりました。

歳出は、前年度の195億74

